



義肢の理論と製作の決定版

「義肢理論と実際」

国立身体障害センター 飯田 卯之吉 著

著者の飯田氏はこの分野ではあまりにも有名な指導者であり、先覚者であり、しかも常に謙虚に温和に、たえずわが国の義肢装具製作技術を引き上げ、世界の大勢に遅れぬように導いてこられたかたである。

厚生省主催あるいは各地の団体主催の講習会で、実地の教育・研修にも数限りなく当ってこられ、経験は深い。また国際的にも、日本の代表として、各種の会議で活躍してこられている。

この著者によって書かれた本書は、義肢の力学的基礎理論と製作過程に関するかぎり、まさに決定版というべきものであり、わが国はもちろん、海外でも、1冊でこれだけに

まとまって実際的な内容を備えたものは寡聞にして知らない。

内容は上肢下肢の義肢の、スタンダードのものにかぎって詳しく述べてあり、特に巻頭には KBM 下腿義足の製作工程が、写真で詳細に示されている。

本書の特色は、図が豊富で、きわめて明快な、よくわかる図ばかりであること(当然なことだが、それが貴重なのである)にある。

説明が、いかにも自分でひとつひとつ作っていく人にふさわしく、細部を大切に、ほんとうに搔ゆいところに手の届くような書き方が、なされていることである。当然のことであるが、理学療法士・作業療法士

の本来の分野である、歩行・上肢の訓練などについて義肢と関係ある点以外は全く触れていない点は、かえって見識を感じさせ、爽快な印象さえ与える。

本書は、切断者のリハビリテーションに携わる医師・PT・OT、それにいうまでもなく、補装具技術者にぜひ広く読んでほしい本であり、これまでの類書では満されなかった渇きを必ず満してくれる本であるように思う。(B5, 215 ページ, 4500 円, 医歯薬出版)

(東大病院リハビリテーション部
上田 敏)